

No	日	ご意見・ご質問	回答
1	6/22	義務教育学校なのか、学園制なのか。方向性は決まっているのか。	新校開校に向けて、義務教育学校への導入も視野に進めたいと考えていますが、現時点では決定していません。開校までの5年間で検討を進め方向性を決めていきたいと考えています。
2	6/24	説明会の参加者が少ないが、どのような原因が考えられるか。	令和5年に入り、市内6小学校で各1回ずつ、芦原中学校で2回の市民説明会を実施しており、一定程度のご理解をいただけたのではないかと考えています。なお、今回の市民説明会における周知については、隣組回覧、市ホームページで周知しました。また、小中学校の保護者向けには情報伝達ツールのスクリレを使用し、幼稚園、保育園の保護者には文書でのご案内をしています。
3	6/24	説明会で出た意見は策定計画に反映されるのか。	いただいたご意見等については、教育委員会で検討し、必要な修正を加えた上で、学校再編計画として決定してまいります。
4	6/24	施設や通学方法などは検討へ集約されていて知りたい情報がないのではないか。	本計画決定後に検討してまいりますので、ご理解願います。
5	6/24	教科担任制について、公立で行っている学校はあるのか。また、1年生から教科担任制になるのか。	本市でもすでに高学年で教科担任制を実施している学校もございます。岩村田小学校では、2年生も教科担任制を行っていると聞きました。教員の配置等もあるので、全ての学校、全ての学年で教科担任制を行えるわけではありません。ただし、本市で教科担任制を実施している学校では、多くの目で子ども達を見ることができており、様々な成果がでています。これからも小中一貫教育に向けて研究が必要だと考えています。
6	6/24	自校給食で運営するのか。	統合小学校の給食については、自校給食を想定しております。ただし、運営方法については民間委託も検討する必要があると考えています。
7	6/24	小中一貫教育について、9年間、一貫したカリキュラムを策定してそれに沿って一貫教育を進めていくということだが、どの程度の一貫教育を考えて、計画を立てているのか。マネジメントも小学校なら小学校の校長先生、中学校は中学の校長先生のもとで行われるということなのか。	まずは、義務教育学校ではなく、小学校、中学校の校長先生がそれぞれいる小中一貫校を目指して参ります。ただし、様々なことを考えると、この5年間の中で研究を重ね、義務教育学校を目指すことも大事だと考えています。カリキュラムについては、計画策定後、中学校の教諭が小学校の部分も見通し、また、小学校の先生は中学校3年までのことも見通すことのできる9年間を通じたカリキュラム作りに着手してまいります。
8	6/24	令和10年に開校する新しい学校については、今まで通りの中学校3年、小学校6年の体制でいくのか。	制度についても5年間でしっかり研究をしていかないといけないと考えております。そのため、今ここでお答えすることは難しいです。
9	6/24	制度面で何か問題が生じると思うので、保護者へよく説明しておいていただきたい。	学校再編については適切なタイミングで情報を発信できるよう努めてまいります。
10	6/24	人口減少を止める努力はなにかしているのか。	人口減少には、自然減と社会減がございます。本市の場合、一昨年までずっと社会減になっていましたが、ウエルネスシティを目指して移住者を呼び込む政策等を実施した結果、ここ数年は徐々に社会増に転じています。しかし、それ以上に自然減が多いので結果的には人口が減ってきています。
11	6/24	何としても子どもを集めようとする熱意が伝わらない。学校だけでなく、そのあたりの施策が必要なのではないか。	社会増は、地域間競争であるので他の自治体を実施していることを真似ても駄目だと思っています。小諸の持っている力を発揮して、他にはない取り組みを行っていきたいと考えています。
12	6/24	学級人数を20人から25人くらいまでに早急に減らしてほしい。	長野県は、全国に先んじて小学校の30人規模学級を実施しています。子どもたちの育ちを考えると2年生ぐらまでは学級数を少し増やし、3年生以上は35人学級を維持するのが理想的であると考えています。実現するためには費用も人材も必要なことですので、様々な面から検討をしていきたいと考えています。

No	日	ご意見・ご質問	回答
13	6/24	これから子どもを増やしたいとしているのに、長期の計画は子どもが減る前提での計画になってしまうので、計画は適当な長さの方が良いのではないか。	状況は常に変化しますので、計画も都度見直すことを考えています。
14	6/24	学級の人数は少ない方が良いという話はあるが、サッカーができる人数は確保してほしい。	これからの教育を考えた場合、平成30年の再編基本方針でも示しているとおおり、1学級20～30人を維持することが必要だと考えています。
15	6/24	子ども達が新しい学校に対してどのような夢や希望を持っているかが大事なことだと考えるが、そのような動きについて、事務局はどう考えているか。	全てを盛り込むことはできませんが、子ども達だけでなく、大人にも新校づくりに参加いただきたいと考えています。計画策定後、開校までの間に意見を聞く場を設けていくことを予定しています。
16	6/24	課題を解決するために、新しい職員や体制についてはどう考えているか。	教育に関する検討課題については、校長会を中心に小中一貫教育推進委員会が立ち上がっています。校長会、教育委員会が力を合わせて課題解決に向け検討を進めたいと考えています。
17	6/24	5年間で新しい学校を様々な面で作っていく必要があり、非常に多岐にわたる活動が予想されるが、その見通しについて教えて欲しい。	他の先進地事例を参考にするとPTA活動や学校の規則等は開校のおおよそ2～3年前に組織を立ち上げ検討をしています。小諸市の場合も同様に実施していくことを検討しています。
18	6/24	小学校の教科担任制等について、導入するのであれば、ぜひ現場の職員の声を聞いていただきたい。	昨年度は、小諸市の小中学校の先生が一堂に会する小諸市学校職員共同研究会の中で、小中一貫教育について進めたいという話をしました。教科担任制については、校長裁量となり、全ての学校が行っているわけではありませんので、校内でも意識統一をお願いします。
19	6/24	学校再編に関してはいろいろな問題点があり、教育委員会だけでは対処できないと思うので、市の部局全てであたってほしい。	いままでは子ども達の学びにとってどのような学校がいいのか、どのような教育をしたらいいのかという議論をしていたので、議論を妨げないようにしていました。今後は、様々な分野からの検討が必要になってきますので市長部局もしっかり取り組んでいきたいと考えています。
20	6/24	資料の20ページに、学童クラブを増築校舎に設置と書いてあるが、放課後の子どもの居場所をきちんと作ってほしい。	新しくできる学校に放課後の居場所を確保していきます。児童館、児童クラブには学校と違って縦割りで子ども達が集まるので、リーダーシップの養成やフォロワーシップの学びも期待できます。放課後の居場所の中でも子ども達の心を育てていきたいと考えています。
21	6/24	プールについて、芦原中学校につくらないということはないようにしてもらいたい。	必要なものは、今後の検討の中でしっかりと進めていきたいと考えています。
22	6/24	プールや駐車場などのハード面について、一番早く決めなければならないと思うがどうか。	今までは場所が決定していなかったため、踏み込んだ話はできませんでした。計画策定後は、ハード面についても早々に取り組んでいかなければならないと捉えています。